

巻頭言

IT時代を開くインパク

新世紀がはじまる、そしてIT（情報技術）時代の幕が開かれるインパク（インターネット博覧会）は、それを実現するために、インターネットの中で行われる博覧会です。

新しい時代が、新しい行事で幕開かれた、という例はいくつもあります。例えば一八五一年にはじまった万国博覧会です。この頃、ヨーロッパでは汽車や汽船が発展、郵便や新聞が普及し出していました。ロンドンで大博覧会が開かれるという情報を郵便や新聞で知った人々は、汽車と汽船で博覧会場にやって来て、そこでこの世のものとも思えない光景に出くわしました。鉄とガラスだけで造られた巨大な建物（水晶宮）の中に、世界中の人と物が集まっていたのです。

この行事の成果で、汽車や汽船は伸びる事業となり、郵便と新聞は誰もが利用する文化になりました。その上、鉄とガラスの近代建物が猛烈な勢いで拡がつて都市は一変、国境を越えた国際社会の概念が定着しました。あの時、万国博覧会が行われなかつたなら、近代社会の確立は、大幅に遅れたことでしょう。

それから百五十年、今また世界は新しい技術と生活様式を求めています。インターネットを主軸とするITの急激な発達によって、多様な知恵の時代がはじまるうとしているのです。これは単に産業構造や経済システムを変えるだけではなく、社会の仕組みや人々の価値観まで変える大変革になるでしょう。人々は物財の量よりも知恵の質を求めるようになり、職場での繋がりよりも好み縁を大事にするようになるでしょう。血縁、地縁、職縁に続く第四の社会、好縁社会がはじまるうとしているのです。

IT時代を開く大行事 インパク（インターネット博覧会）



インパクは、そんな新しい時代を開く世界最初の大行事なのです。

IT革命で大事な情報の中味の創造

政府は今、IT革命の推進に総力を挙げています。残念ながら日本は、インターネットの普及や利用の面で、欧米諸国やアジアの込んだ国々に遅れを取っています。この遅れを取り戻し、世界最高水準の情報通信ネットワークを造るためには三つのことが必要です。

第一は光ファイバーなどの高速通信網を張りめぐらせるハード（施設）を整えること、第二は国民みんながインターネットを使える技能を習熟するソフト（利用技術）を拡めること、そして第三には、インターネットを使えば便利で楽しいという情報の中味（コンテンツ）を創造する人材と機能を育成することです。インパクは、この第三のコンテンツ創造を飛躍的に伸ばすための行事です。

インパクには、東京都を除く全道府県や主要都市、企業や民間団体など二百以上が、それぞれのテーマを掲げて、インターネット上にパビリオン（ウェブサイト）を設営します。また、個人と任意団体による自由参加もあります。その中には、あなたが興味を持つている事項や分野が必ずあるでしょう。あるいは、それを見て、本当に好きなこと、心から語り合える友人が見つかるかもしれません。もちろん、インターネットの利点の一つはeコマース。インパクでも物販や旅行・観光の案内もあります。若い人だけではなく、中高年の方にもわくわくするような楽しみをしながらにして味わえることでしょう。インパクは「楽綱樂座」自由に参加し座つたままで全国と語り合える世界に、現代から未来に贈る新発想なのです。ぜひともあなたも、inpaku.go.jpのポータルサイトをお開きください。



経済企画庁長官
新千年紀記念行事担当大臣
堺屋 太一